



令和3年度流域下水道事業の決算がまとまりました

- 地方公営企業法第30条第1項の規定により、令和3年度事業の決算をとりまとめました。
- 24百万円の純利益を計上しました。

決算の概要

○ 業務量

処理水量：8,150万m³（前年比：100.9%）

○ 損益

経常収益：10,298百万円（前年比：100.7%）

経常費用：10,273百万円（前年比：100.6%）

純利益：24百万円（前年比：141.2%）

○ 令和元年東日本台風の被災関連

- ・クリーンピア千曲の災害復旧事業完了に伴い資産計上（有形固定資産：14,274百万円）
- ・資産の減価償却費は翌年度（令和4年度）から計上

※詳細は、別紙のとおりです。

（参考）

- 本県の流域下水道は、1971年（昭和46年）に諏訪湖流域下水道で事業着手
- 現在、以下の3流域4処理区で15市町村約60万1千人の処理を実施 R4年3月末見込
 - ・ 諏訪湖流域下水道：岡谷市・諏訪市・茅野市・下諏訪町・富士見町・原村・立科町
 - ・ 千曲川流域下水道 上流処理区：長野市（南部）・千曲市・坂城町
下流処理区：長野市（北部）・須坂市・小布施町・高山村
 - ・ 犀川安曇野流域下水道：松本市（梓川地区）・安曇野市

信州版「新たな日常のすゝめ」



新型コロナウイルスの感染を防止するための行動を自ら考え実践しましょう

環境部 生活排水課 業務係
 （課長）小林 宏明
 （担当）池田 伸吾
 電話 026-235-7321（直通）
 026-232-0111（代表）内線3376
 F A X 026-235-7399
 E-mail seikatsuhaisui@pref.nagano.lg.jp

令和3年度 流域下水道事業の決算概要

生活排水課

1 業務量・損益

(消費税抜き)

区 分	令和3年度 (A)	令和2年度 (B)	増 減		主な増減理由
			(A-B)	(A)/(B)	
処理水量	8,150 万 ³ m	8,075 万 ³ m	75 万 ³ m	100.9%	
経常収益 (a)	10,298 百万円	10,225 百万円	73 百万円	100.7%	
経常費用 (b)	10,273 百万円	10,209 百万円	64 百万円	100.6%	修繕費の増 +175 百万円
特別利益 (c)	0 百万円	3,457 百万円	△3,457 百万円	—	災害関連収益の皆減
特別損失 (d)	0 百万円	3,457 百万円	△3,457 百万円	—	災害関連費用の皆減
経常利益 (a-b)	24 百万円	17 百万円	7 百万円	141.2%	
純利益 (a-b+c-d)	24 百万円	17 百万円	7 百万円	141.2%	

※：四捨五入の影響により、合計額又は差引が一致しない場合がある。以下の表も同様

2 設備投資

(消費税込み)

区 分	令和3年度 (A)	令和2年度 (B)	増 減		主な増減理由
			(A-B)	(A/B)	
収 入	14,283 百万円	10,498 百万円	3,785 百万円	136.1%	
企業債	2,569 百万円	2,327 百万円	242 百万円	110.4%	
補助金	9,550 百万円	6,529 百万円	3,021 百万円	146.3%	国庫補助金の増 +2,993 百万円
負担金	2,165 百万円	1,642 百万円	523 百万円	131.9%	
支 出	14,283 百万円	10,344 百万円	3,939 百万円	138.1%	
建設改良費	12,124 百万円	8,201 百万円	3,923 百万円	147.8%	災害復旧事業の増 +3,059 百万円
固定資産購入費	41 百万円	26 百万円	15 百万円	157.7%	
企業債償還金	2,118 百万円	2,117 百万円	1 百万円	100.0%	

※：令和2年度の収入には、令和元年度事業分の支出に充てる企業債収入154百万円を含む。

3 資産状況

流動資産			流動負債			流動比率	
令和3年度 ①	令和2年度 ②	増 減 ① - ②	令和3年度 ③	令和2年度 ④	増 減 ③ - ④	令和3年度 ① / ③	令和2年度 ② / ④
4,856 百万円	7,860 百万円	△3,004 百万円	6,659 百万円	9,789 百万円	△3,130 百万円	72.9%	80.3%

4 経営指標

指 標	令和3年度	令和2年度
経常収支比率 (経常損益)	100.2%	100.2%
施設利用率 (処理能力に対する処理水量)	67.1%	65.3%